



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1159 2019年2月18日

ARIBからのお知らせ

2018年度会員懇談会のお知らせ

2018年度会員懇談会を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。
ARIB 会員相互や、総務省など関係機関・団体の方々との懇談の場としてご利用いただきたく、多くの会員会社の皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 1 日時 2019年2月21日(木) 午後5時10分から6時40分まで
- 2 場所 ホテルニューオータニ 鳳凰の間 (ガーデンタワー宴会場階)
千代田区紀尾井町 4-1 (電話 03-3265-1111) <http://www.newotani.co.jp/tokyo/>

【問合せ先】

一般社団法人電波産業会 総務部 春原又は平野
東京都千代田区霞が関 1-4-1
電話 : 03-5510-8590 E-mail : n-sunohara@arib.or.jp

2018年度 APT 研修 「次世代及び新世代移動通信システム実現に向けた取組」 「カントリーレポートプレゼンテーション」への参加について

総務省・YRP 研究開発推進協会 主催、ARIB の協賛により、例年実施されている APT (Asia-Pacific Telecommunity) 研修「次世代及び新世代移動通信システム実現に向けた取組」が、2018年度は2019年3月6日(水)~3月13日(水)に実施されます。

本研修にはアジア・太平洋諸国から例年10~15名が参加しており、今年度は14名(出身国:アフガニスタン、バングラディシュ、ブータン、香港、イラン、ラオス、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、サモア、タイ、ツバル)の研修生が来日予定です。

この研修期間中、3月7日(木)及び11日(月)に ARIB 関連セッションが当会会議室で開催されます。この内、7日(木)にはカントリーレポートプレゼンテーションを予定しており、各研修生から、各国の周波数割当、移動通信関連の情勢・動向等について発表していただき、その後質疑を行います。研修生への報告依頼事項には「ICT 政策に関する最近のトピック」、「周波数割当(新サービスの導入周波数帯)に関する最近のトピック」、「5G の導入計画あるいは

その検討スケジュール」、「移動通信分野で日本に協力を期待する事項」等も含まれております。

このカントリーレポートプレゼンテーションのセッションに、会員の皆様の参加を募集します。アジア・太平洋地域における移動通信関係の動向把握とともに、各国の電気通信主管庁職員との交流を深める良い機会となりますので、ご活用いただきますようご案内申し上げます。

なお、セッション終了後、研修生との意見交換会を予定していますので、こちらへも是非ご参加ください。

記

日時： 2019年3月7日(木) 午後2時45分～5時45分

場所： 一般社団法人電波産業会 第1・2会議室

内容： 研修生によるカントリーレポートプレゼンテーション及び質疑応答

対象： ARIB会員企業・機関の方

意見交換会： 同日 午後5時45分から7時まで、第6会議室において開催（立食）

参加を希望される会員様（各社3名まで）は2月28日(木)までに、社名、所属、役職、氏名、e-mail アドレス、電話番号を事務局までご連絡ください。

事務局：一般社団法人電波産業会

企画国際部 熊谷 佳晶

E-mail : y-kumagai@arib.or.jp

TEL : 03-5510-8592



2017年度 APT 研修 カントリーレポートの様様

第 61 回 COSPAS-SARSAT 公開理事会(CSC-61/OPN)に参加

COSPAS-SARSAT の公開理事会は COSPAS-SARSAT の最終決定機関であり、規格の承認、運営に係わる決定などを行っています。その第 61 回会合(CSC-61/OPN)がカナダにおいて開催されましたのでその概要をお知らせします。

- 1 開催期間:2019年2月4日(月)~2019年2月7日(木)
- 2 開催場所:カナダ モントリオール市 ICAO 本部会議室
- 3 参加国:米国、ロシア、フランス、カナダ、中国、ノルウェー等(30 各国、3 団体、約 108 名)
- 4 概要

我が国の受信局(MEOLUT)のコミッシュンングレポートの承認依頼及びリターンリンク(RLS)対応の EPIRB(非常用位置指示無線標識装置)の登録方法に関する我が国の方式提案を行いました。

5 審議内容**5.1 日本 MEOLUT のアンテナ追加コミッシュンング**

コミッシュンングレポートについては JC-32 からの継続審議であったため、改定内容に対し特段の質問も出ずに承認されました。

5.2 RLS 対応 EPIRB の海上移動業務識別コード(MMSI)を用いたコーディング手法

RLS 対応の EPIRB を従来どおり MMSI を用いてコーディングする 3 つの手法を提案し、今後行われる技術関連の会合での検討を依頼しました。

この提案に対し、RTCM(Radio Technical Commission for Marine Service : 海事用無線技術委員会)から、重要な問題なので 6 月の JC-33 会合までに提案にある 2 つの案について検討し、業務管理センタ(MCC)のソフトに変更のないような方法を提案するとのコメントがありました。また、ノルウェー、英国及び EC から、日本提案について好意的な意見が述べられました。



CSC-61/OPN の様子

テラヘルツ調査研究会 第7回会合を開催

テラヘルツ波通信／センシングシステムの早期実用化に向け、開発課題、周波数要件、制度課題などを広く調査研究することを目的とするテラヘルツ調査研究会の第7回会合が、2月14日（木）に開催されました。

第7回会合においては20名が参加し、通信系の調査研究成果に関する報告書の編集・校正作業が進められ、3月中旬の作業完了を目標とすることが確認されました。また、その後約1年間をかけて実施予定のセンシング系調査研究の概要についても情報共有が行われました。次回会合は3月中旬に開催予定です。

第258回 業務委員会を開催

第258回業務委員会を開催しました。

1 日時： 2019年2月14日（木） 午後3時30分から4時55分まで

2 場所： 当会第6会議室

3 議題

- (1) 第25回理事会等の開催について
- (2) 第110回規格会議の結果について
- (3) APG19-5 会合開催に関する分担金の支払いについて
- (4) チリの地デジセミナーの結果について
- (5) 5G 国際シンポジウム 2019 開催概要について
- (6) 各社からのトピックス
- (7) その他

今週の ARIB 内会合（2月18日～2月22日）

2月19日（火）：第42回無線LANシステム開発部会

2月21日（木）：スタジオ設備開発部会 主任会議

今週の国際会合（2月18日～2月22日）

2月18日（月）～3月2日（土）：ITU-R CPM-19-2 会合（ジュネーブ）

**サイバーセキュリティ国際シンポジウム
～情報共有・国際連携のさらなる促進に向けて～ 開催のお知らせ**

総務省では「サイバーセキュリティ国際シンポジウム～情報共有・国際連携のさらなる促進に向けて～」と題し、下記のとおりシンポジウムを開催することとしていますのでお知らせします。

記

高度化・複雑化が進むサイバー空間の脅威に対応するためには、関係者間の情報共有や国際連携の強化が重要です。

本シンポジウムでは、サイバーセキュリティに関する情報収集や、収集した情報の分析等を行う業界ごとの組織である ISAC(Information Sharing and Analysis Center)について、日米の関係者が事業者間での情報共有の仕組みや先進的取組事例等を紹介するとともに、より効率的な情報共有のあり方についてパネルディスカッションを実施します。

開催日時： 2019年2月25日(月)13:30～18:00

開催場所： 京王プラザホテル 南館 4F 錦 (東京都新宿区西新宿 2-2-1)

主催： 総務省

一般社団法人 ICT-ISAC

参加費： 無料

申込み先： <https://www.ict-isac.jp/news/news20190208.html>

申込期限： 2019年2月20日(水) 17:00 まで

詳細については、総務省の報道資料

(http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01cyber01_02000001_00016.html)

に掲載されておりますので、そちらをご覧ください。

以上

**平成 31 年度における電波資源拡大のための研究開発及び異システム間の周波数共用技術の高度化に関する研究開発の基本計画書（案）に関する意見募集
【平成 31 年 2 月 13 日発表】**

総務省では、新たな電波利用ニーズの拡大に対応するため、周波数のひっ迫状況を緩和し、電波の有効利用を目的とした「電波資源拡大のための研究開発」を実施しています。

また、第 5 世代移動通信システム (5G) 等の新たな電波利用ニーズに対応するため、周波数の効率的な利用や共同利用を一層推進することを目的として、平成 31 年度から新たに「異システム間の周波数共用技術の高度化事業」を実施する予定です。

平成 31 年度から新たに実施する 9 件の研究開発課題の提案の公募に先立ち、研究開発内容、技術課題、到達目標等を記載した「電波資源拡大のための研究開発及び異システム間の周波数共用

技術の高度化に関する研究開発の基本計画書（案）」について、平成 31 年 2 月 14 日（木）から同年 3 月 11 日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【平成 31 年 2 月 13 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

会員からのお知らせ

「日テク 2019」開催のご案内



NITTECH 2019

2019 年 2 月吉日

日本テレビ放送網株式会社

「日テク 2019」開催のご案内

3 月 12 日（火）・13 日（水） 汐留・日本テレビにて

2002 年～2016 年「デジテク」、2017 年～2018 年「クリエイティブテクノロジーラボ」、テレビ放送とテクノロジーの関係を研究し、皆様に知っていただくために続けてきたイベントが今年から、「日テク」（ニッテク）という名前に生まれ変わります。

今回の「日テク 2019」では「日テレ×テクノロジー×働き方改革」をメインテーマに、日本テレビグループ各社、ネットワーク各社が出展し、様々な技術的取り組みをご紹介します。

AI による様々な番組制作作業の効率化、出演者がアンドロイドでスタッフすら不在な無人スタジオ、4K・HDR と SDR の変換手法など、実際の番組制作に役立つ技術、そして新しいテレビの在り方を提案する技術を、番組制作者をはじめとしたテレビに関わる全ての方々に知っていただきたいと思えます。

テクノロジーがテレビにもたらす可能性を是非ご体験ください。

- 開催日時： 2019 年 3 月 12 日（火） 11 時～18 時
3 月 13 日（水） 11 時～18 時

- 会場： 日本テレビ内 日テレホール ABC+2F ロビー

- 入場料： 無料（受付にてお名刺 2 枚を頂戴いたします）

- 公式サイト： ※最新情報に関しましては下記ウェブサイトにて順次アップデートします。

<https://www.ntv.co.jp/nittech/>



関係団体からのお知らせ

シンポジウム「真贋の判定こそはモノ層からサービス層まで貫く理念」開催のお知らせ

一般社団法人セキュア IoT プラットフォーム協議会（理事長 辻井重男）では「真贋の判定こそはモノ層からサービス層まで貫く理念」と題し、下記によりシンポジウムを開催することとしていますのでお知らせします。

IoT、Big Data、AI が普及する中で、真贋判定・真正性保証の基盤的重要性を理念として、一般社団法人セキュア IoT プラットフォーム協議会と中央大学研究開発機構が協力し、総務省の「戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)」による競争的資金を活用しつつ、デバイス層、ネットワーク層、データ管理層、情報サービス層の4階層に亘る研究開発が進められています。本シンポジウムはその活動の一環として開催されるものです。

シンポジウムではその研究開発に携わった研究者から研究成果の一端をご紹介しますほか、総務省サイバーセキュリティ統括官 竹内 芳明様から特別講演、民間の最先端のセキュリティ対策についてのご講演等がある予定となっております。

開催日時：2019年2月23日(土)10:00~17:00、26日(火)10:00~17:30

開催場所：中央大学後楽園キャンパス 6号館 3階 6302号室

主催：SCOPE[IoT デバイス認証基盤の構築と新 AI 手法による表情認識の医療介護への応用についての研究開発]プロジェクトチーム
一般社団法人セキュア IoT プラットフォーム協議会
中央大学 研究開発機構

参加費：無料

申込み先：https://questant.jp/q/SIOTP_SYMPO

詳細については、(https://www.secureiotplatform.org/event/sympo_scope)に掲載されておりますので、そちらをご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp